

狭山エリア新聞

【問合せ先】ASA 狭山

Tel: 04-2952-2246

【発行所】狭山エリア新聞編集室

Tel: 049-265-1886

Fax: 049-265-1887

【記事提供】狭山CATV

入間川冬まつり2009 流れの星あかり

12月12日(土)、七夕通り商店街駐車場・徳林寺・周辺地域において「入間川冬まつり2009 流れの星あかり」が行われました。

このまつりは、狭山市駅西口周辺の賑わいの創出を目的に行われている、中心市街地活性化事業の一環として開催されました。

同事業4つのワーキンググループのうち、イベントグループによるもので、今回は、狭



山商工会議所青年部、狭山青年会議所、狭山農業青年会議所も加わりました。

2つの会場には、模擬店販売や、農業青年会議所より、新鮮野菜の販売や狭山茶の無料接待や販売も行われました。

狭山市駅西口駅前では、イベントPRを兼ねて、ろうそく工作が行われ、子どもから大人まで、多くの人が参加しました。

午後4時頃、徳林寺の鐘の音を合図に各所点灯、徳林寺会場には、色とりどりのカフコープに入ったろうそくと入間川七夕まつりの竹を利用した作った竹のろうそく、七夕通り駐車場会場には、ペットボトルのろうそく、中央公民館入り口や商店街にろうそくが並びました。

陽が落ちて暗くなる、そのあかりが周辺を照らし、幻想的様相となりました。2つの会場内では、明かりの中で歌や楽器演奏が披露されました。

今回は、短冊が用意され、訪れた人達はそれぞれ願いをしるしました。この短冊は、来年開催の七夕まつりでも飾られる予定になっています。

終了間際には、西武文理専門学校の協力によるハンドベルの演奏も行われ、クリスマスメドレーも奏でられました。

青年団体と商店街、地域の人々が一体となって、約7000個の灯りがまちを包み込みました。

この模様は、12月24日から放送のスカイテラスでチャチャちゃであらためて紹介します。

子どもチャレンジ クリスマスリースを作ろう!

12月5日(土)、奥富公民館で「子どもチャレンジ クリスマスリースを作ろう!」が開かれました。

これは小学生を対象に行われ、クリスマスに向けて手作りのリースを作るもので、講師には地元のフラワーアレンジメントの指導をしているフラワー装飾技能士の増島美千代さんを迎えました。

参加者はインターネットからの申し



込みもあり、奥富小学校、富士見小学校、水富小学校の2年生〜5年生の児童13人が参加しました。

このクリスマスリースは、発泡スチロールの土台にリボンを巻いて軸を作り、造花やモール、ベルや星形の飾り、毛糸などで飾り付けるといいうものです。およそ90分ほどで作業は終わり、リースが完成しました。

その後、参加者は自慢の力作を手に、記念撮影をして会は終了しました。

年末年始特別警戒防犯キャンペーン

12月15日(火)、狭山市駅で「年末年始特別警戒防犯キャンペーン」が行われました。

これは、12月15日から1月3日までの年末年始特別警戒期間の活動の一環として毎年行われていきます。

始めに狭山市長が「暮れになりますと、気ぜわしさに、忙しさに紛れて色々な事件や事故が起こってまいります。皆さんのお力をい



ただいて啓蒙啓発活動をするという事は非常に大事なことであります」と挨拶しました。

その後、街頭キャンペーンが始まり、参加者は防犯と書かれた緑色のベストを着用し、啓発品を手に狭山市駅東口と西口に別れて駅利用者への声かけや啓発品の配布が行われました。

啓発品配布終了後、狭山市駅西口を出発し、慈眼寺前交差点を通り市役所までの間、防犯を呼びかけるのぼり旗を先頭にパトロールが行われました。

今回は狭山地方防犯協会、狭山市事業所防犯協議会、狭山市自治会連合会などの団体も含めおよそ70名が参加しました。

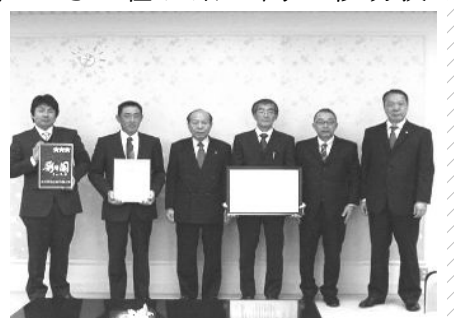
続いて狭山警察署地域課長は「皆さん方が一生懸命、防犯という活動に取り組み警察に協力してくれて犯罪を抑止する環境が整っています」と挨拶した後、振り込め詐欺などの犯罪件数や実情を話しました。

その後、街頭キャンペーンが始まり、参加者は防犯と書かれた緑色のベストを着用し、啓発品を手に狭山市駅東口と西口に別れて駅利用者への声かけや啓発品の配布が行われました。

碾茶工房「明日香」彩の国工場指定の報告

12月9日(水)、狭山碾茶工房有限公司社明日香の役員5名が、彩の国工場指定の報告のため、市長を表敬訪問しました。

仲川市長は「埼玉県で碾茶を生産するといふ先駆けを作った会社であり、特産狭山茶の振興・発展に努力していただいています。



これからの茶業界の牽引者として、また、地域に根ざした工場として、ますます発展してください」と激励しました。

彩の国工場とは、「地域に開かれ地域に愛される工場づくり」を目的に、技術力や社会貢献、環境面などで優れている工場を、埼玉県知事が豊かな彩の国づくりの協力者(パートナー)として指定するものです。

現在の指定数は412工場、狭山市ではこれまでに11工場が指定を受けています。

今年度の指定工場は32

で、そのうち初めて農業関係工場3ヶ所が指定を受けました。

碾茶工房明日香は、抹茶となる碾茶の製造工場、国や県の補助金などで平成18年から稼働し、抹茶「明松」や「碾茶ほろ茶」などの自社製品の開発・販売を行なっています。

同社の関係者は「家庭でお茶を飲むことが年々少なくなってきたりするようにです。茶業界としてお茶を飲む文化を育て、お茶のイメージアップにも貢献していきたいです」と話しました。

水野の森クリーン作戦

12月6日(日)、市内水野で「水野の森クリーン作戦」が行われました。

水野の森は、水野ふるさと緑の景観地に指定されています。

この活動は当初、若葉自治会で行われていたが、ここ数年は隣接の武蔵・三葉台自治会合同で行われ、その他、地域の小中学校の児童・生徒、ガ

ルスカウト、地元企業なども参加しています。

日頃から、様々な団体が清掃活動を行っていることもあり、ゴミの量もだいぶ減ってきましたが、道路沿いは、瓶や缶などのゴミが、また、林の中に入ると、タイヤや自転車電動工具やガステーブルなどの粗大ゴミが捨てられていました。

今回、回収されたゴ

ミは、ゴミ袋15袋、燃えないゴミ(粗大ゴミ含む)として自転車2台、毛布や便器やシートなどが回収されました。

参加者は「粗大ゴミが少なくなりました。活動を続けてきて良かったと思います。綺麗にしてあげば、ゴミは捨てにくくなります」と話しました。

冷たい風の吹く日となりましたが今年



300名以上の人が参加しました。